

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Fコート

試合区分: No. 310 少年男子 準々決勝

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 安元 正彦

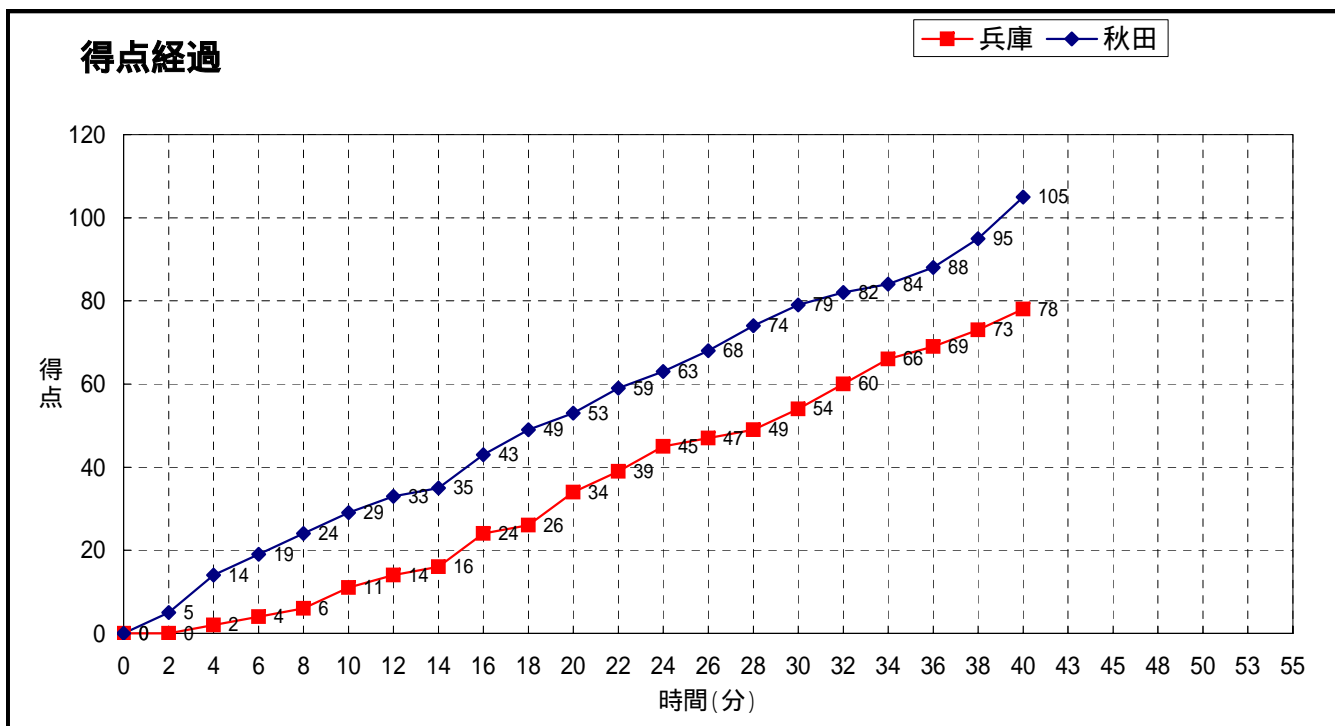
開始時間: 10:00

副審: 飯塚 勝

終了時間: 11:17

秋田		105					78					兵庫			
(東北)												(開催地)			
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	下山 竜良	8	2	1	0	2	4	*	高松 英二	21	2	6	3	4
5	*	満原 優樹	30	1	13	1	2	5	*	松崎 賢人	12	0	6	0	2
6	*	長谷川 技	15	0	5	5	1	6	*	橋本 龍也	6	0	3	0	2
7	*	渡部 敬祐	20	6	1	0	1	7		松田 直樹	0	0	0	0	0
8	*	西山 達哉	16	2	5	0	1	8	*	矢熊 達彦	11	3	1	0	2
9		高橋 健太郎	4	0	1	2	0	9		榎本 純也	0	0	0	0	0
10		遠藤 悠亮	3	0	1	1	0	10	*	中村 大輔	2	0	1	0	1
11		石川 朝	0	0	0	0	0	11		青井 佑樹	2	0	1	0	0
12		宮川 光	2	0	1	0	1	12		谷 直樹	14	3	2	1	0
13		高橋 陽	0	0	0	0	0	13		中島 努	2	0	1	0	0
14		館山 健太	3	1	0	0	0	14		黒川 拓馬	0	0	0	0	0
15		熊谷 健	4	0	1	2	0	15		浦 栄作	8	0	4	0	3
コーチ		加藤 三彦						コーチ		堀田 茂信					
合計			105	12	29	11	8	合計			78	8	25	4	14

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、兵庫マンツーマン、秋田2-2-1オールコートゾーンプレスで試合開始。兵庫は秋田の高さとスピーディーな展開の前になかなかペースがつかめない。秋田は#8西山、#7渡部の3Pシュートが決まり序盤より秋田ペース。兵庫が#4高松が気をはき反撃するものの、18点の大差を開けられ第1ピリオド終了。  
 第2ピリオド、ここで一気に追いつきたい兵庫であるが、秋田のゾーンを攻めあぐみ、逆に秋田に簡単にシュートチャンスを与えてしまう。単発なシュートを繰り返す兵庫に対して、秋田がチームの持ち味を発揮し、兵庫34-53秋田で前半終了。  
 第3ピリオド、秋田#5満原のゴール下シュートで開始。兵庫も#12谷の3Pシュートで応酬。反撃に転じたい兵庫は、#15浦が踏ん張るものの、秋田#5満原にペイントエリアを完全に支配され、一気に点差をあけられてしまう。  
 第4ピリオド、兵庫は苦しい展開の中、#15浦、#4高松、#12谷の闘志あふれるプレーで、試合を盛り上げる。しかし、スピード、高さの差は如何ともしがたく、最後はベンチメンバーを投入した秋田が105-78でベスト4一番のりを果たす。

担当者: 竹本 純一(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会